



## 2013年編集後記

### 新しい年に向かって

今年は何年にもない大きな台風による多くの災害がもたらされた年ではありましたが、2020年オリンピックの東京開催決定、東北楽天イーグルスの球団創設後初めての優勝そして日本一という明るい、夢のあるできごとがありました。東京招致へ、8人のプレゼンターによる最終プレゼンテーションには感動をしました。日本シリーズ最終戦テレビ視聴率は45.3%、楽天の地元仙台では60.4%であったそうです。このふたつのできごとからは、人と人とのつながりのすばらしさ、チーム力のたいせつさという共通のメッセージをいただいたように思います。



一方当院は今年病院創立30周年事業として、病院増改築事業に着手しました。現在工事は基礎工事の終盤にさしかかっています。約1年の工事となりますが、回復期リハビリテーション病棟の充実と外来診察エリアの移転リニューアル、入院療養環境の改善、「脳卒中予防地域研修センター」の設置等が工事の概要です。またICTの活用による医療情報システムの構築による業務改善にも取り組みます。医療機関の機能分化がすすめられる中、「特色ある病院づくり」と、地域住民の皆さん、診療所とつなぎ合う「健やかな町づくり」を両輪とする当院基本方針の実践への新たなスタートでもあります。病院増改築事業とともに今年も当院医師が地域へ出かけ、住民の方々、あるいは医療専門職の皆さんに、「脳卒中」に関するお話をさせていただくことにも積極的に取り組んできました。院内的には「人材育成」を柱とする医療、看護、リハビリ療法の「質の向上」に努めました。日々課題の発見と対応、そして振り返りの毎日ですが、前を見て、また来年も歩み続けます。この一年のご協力とご支援に感謝申し上げます。新しい年がより良い年となりますように。

## 脳卒中のおはなし④

### 脳卒中の予防について ～二次予防について～

前回は高血圧と脳卒中の一次予防についてお話ししました。今回は二次予防、つまり一度脳卒中になった人が再発をしないようにするためにはどのような血圧管理をしたらよいか、ということについてお話ししましょう。

実際脳卒中になった場合はどうするのでしょうか。脳梗塞を発症したばかりの時期は、あまり血圧を下げると脳血流が下がって脳梗塞の再発を招いてしまいますので、原則的には降圧薬を減量もしくは休薬します。(ただしあまりにも高い場合には血圧を下げる治療を慎重に行うこともあります。)発症後一カ月ほどたって積極的に降圧をはじめ、1-3カ月かけてゆっくり下げていきます。この場合目標値は140/90mmHg未満とややゆるめの設定になっています。

脳出血を発症した場合は、積極的に血圧を下げます。血圧が高いままほうっておくと出血がひどくなるからです。二次予防には下の血圧が重要で、できれば75mmHg未満を目標とします。

血圧を適切に下げることによって脳卒中の再発は約30%低下すると言われており、とくに脳出血は再発が半減するというデータがあります。脳卒中再発予防には血圧の管理がとても大切です。



医長・神経内科 片山 由理

(脳卒中専門医・神経内科専門医)

【外来診察日：火曜日午後、水曜日午前】